

令和5年度 住宅市場動向調査 ～調査結果の概要(抜粋)～

調査の概要

(1) 調査対象

令和4年度中(令和4年4月～令和5年3月)に住み替え・建て替え・リフォームを行った世帯を対象として、次に掲げる住宅の種類別に調査を行った。

	調査対象	調査地域	調査方法	調査票回収数
注文住宅	自分自身が居住する目的で建築した住宅に令和4年度に入居した方	全国	郵送調査	623
既存住宅	他の世帯が居住していた住宅を購入し、令和4年度に入居した方または入居予定の方		首都圏、中京圏、近畿圏： ※訪問留置調査 その他の地域： 郵送調査	1,064
分譲住宅	新築の建売住宅または分譲住宅を購入し、令和4年度に入居した方	首都圏 (埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)	※訪問留置調査	581
民間賃貸住宅	賃貸住宅(社宅などを除く。)に令和4年度に入居した方	中京圏 (岐阜県、愛知県、三重県)		579
リフォーム住宅	令和4年度に増築、改築、模様替えなどのリフォーム工事を実施した住宅にお住まいの方	近畿圏 (京都府、大阪府、兵庫県)		598

※訪問留置調査: 調査員が対象を訪問して対面で調査票の記入を依頼し、後日再訪問して記入済み調査票を回収する調査方法

(2) 調査項目

住み替え・建て替え前後の住宅、その住宅に居住する世帯の状況、住宅取得等の資金調達の状況等

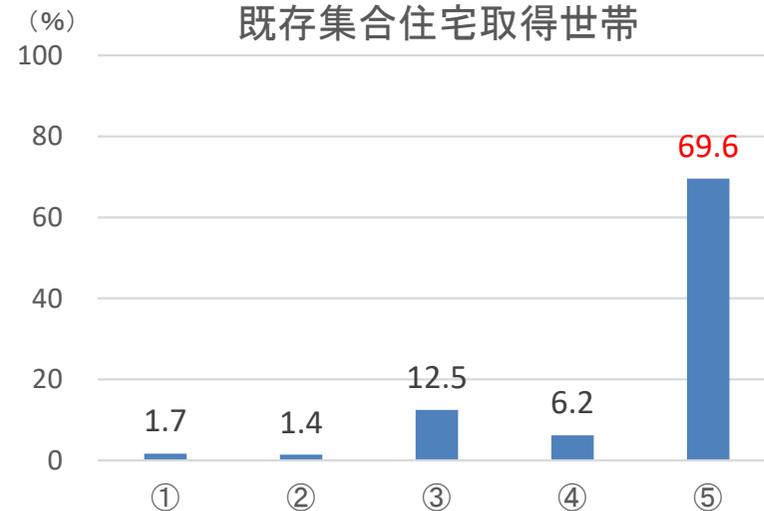
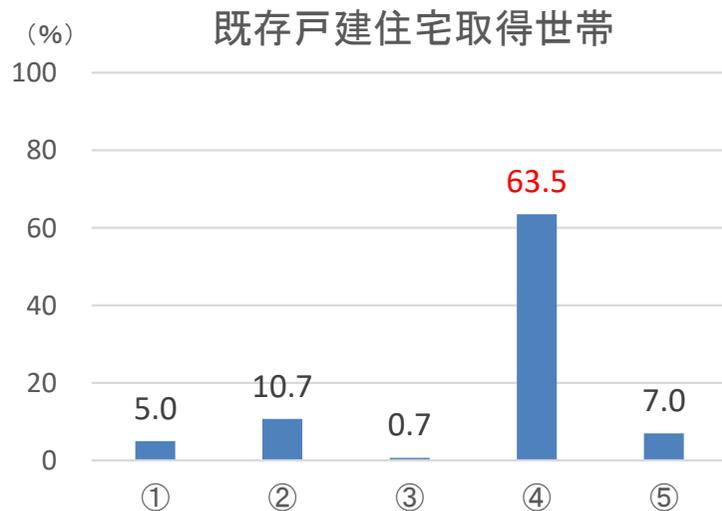
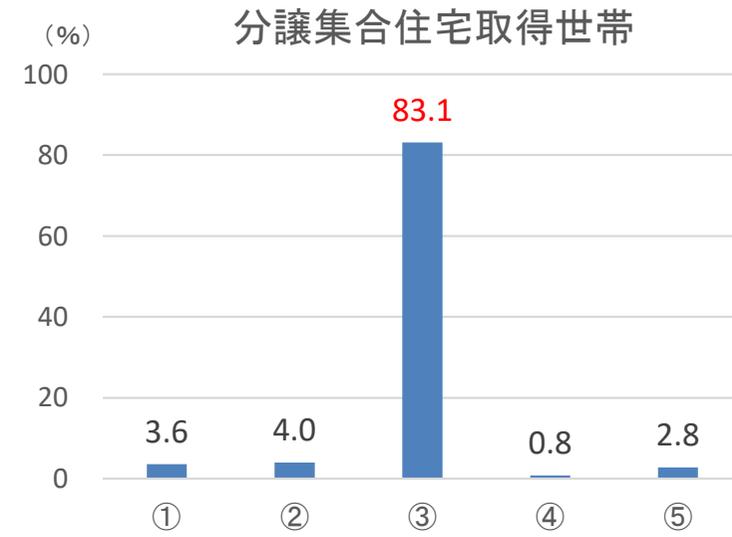
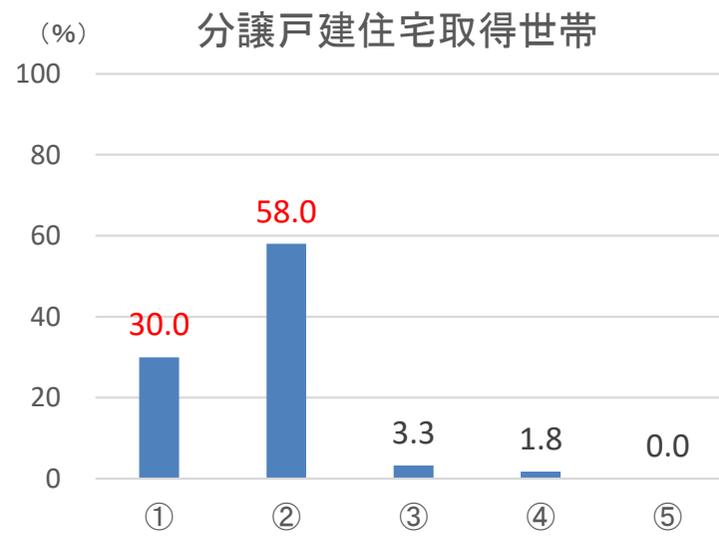
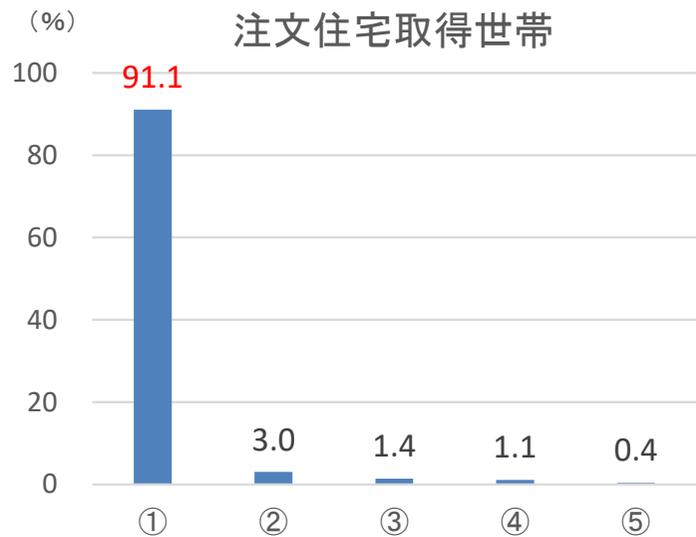
【参考1】住宅選択にあたり、希望順位が最も高かった住宅の種類 国土交通省

○ すべての住宅取得世帯で、希望通りの種類の住宅を取得している世帯が最も多い。分譲戸建住宅取得世帯については、注文住宅を希望していた世帯が30.0%にのぼる。

- ① 注文住宅
- ④ 既存（中古）戸建住宅

- ② 分譲戸建住宅
- ⑤ 既存（中古）マンション

- ③ 分譲マンション

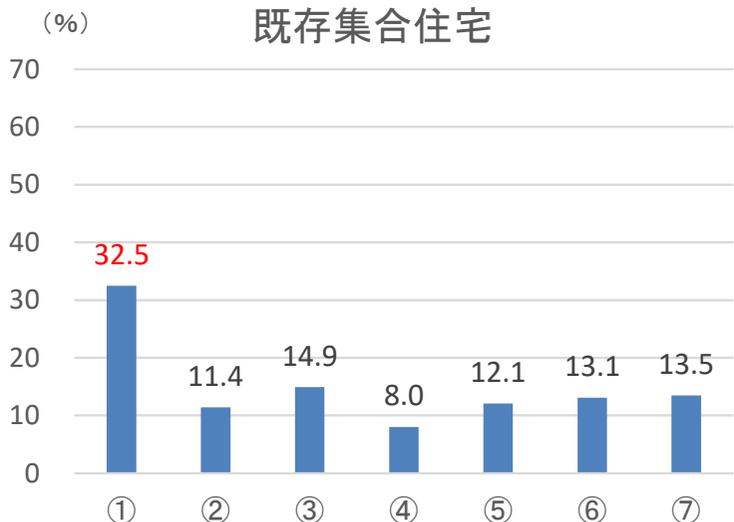
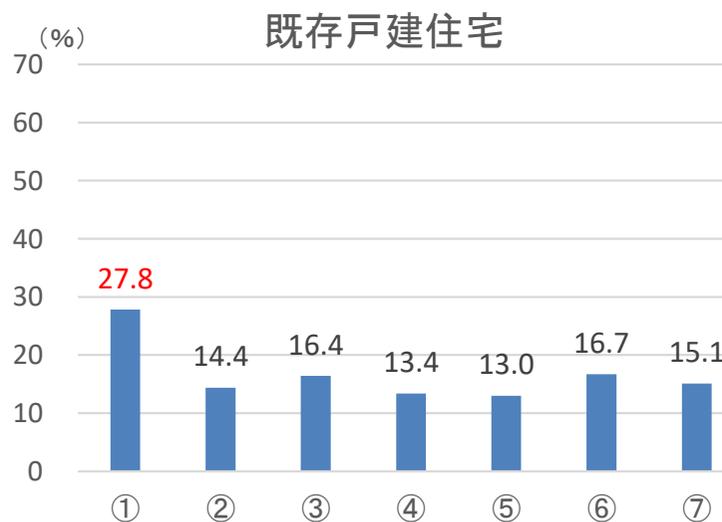
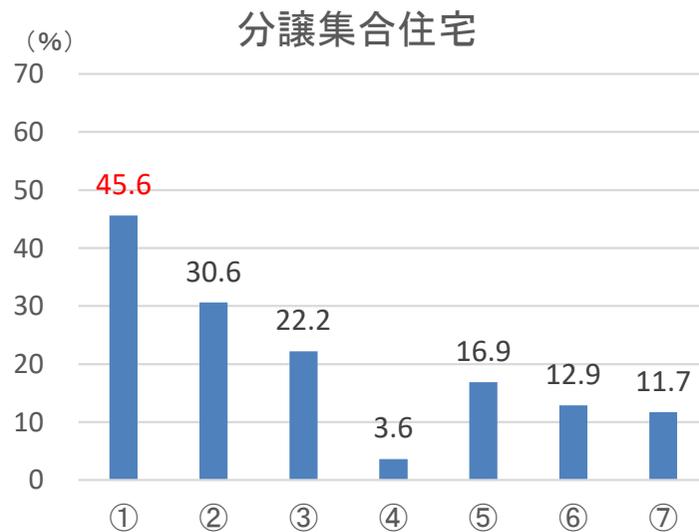
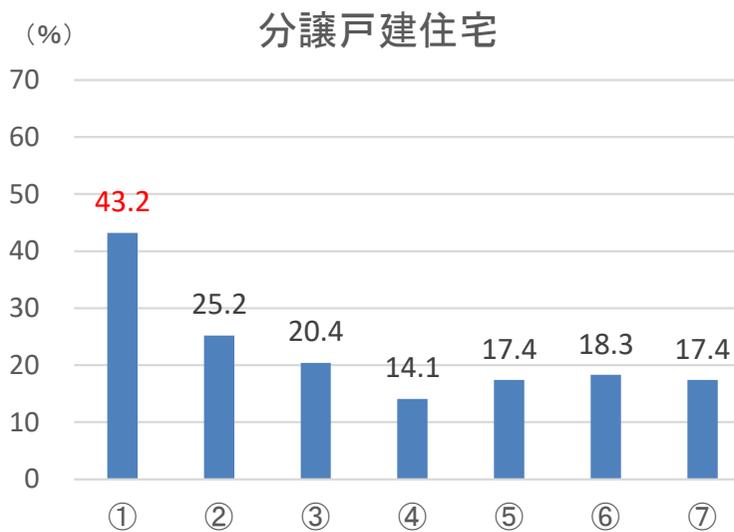
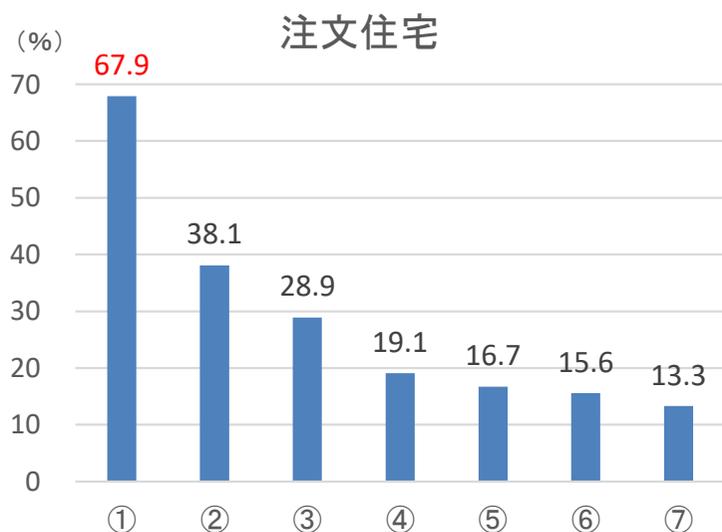


※注文住宅は全国、その他は三大都市圏

【参考2】住宅選択にあたり妥協したものの

○ 住宅選択にあたり妥協したものは、すべての住宅で「価格・家賃(予定より高くなった)」が最も多い。

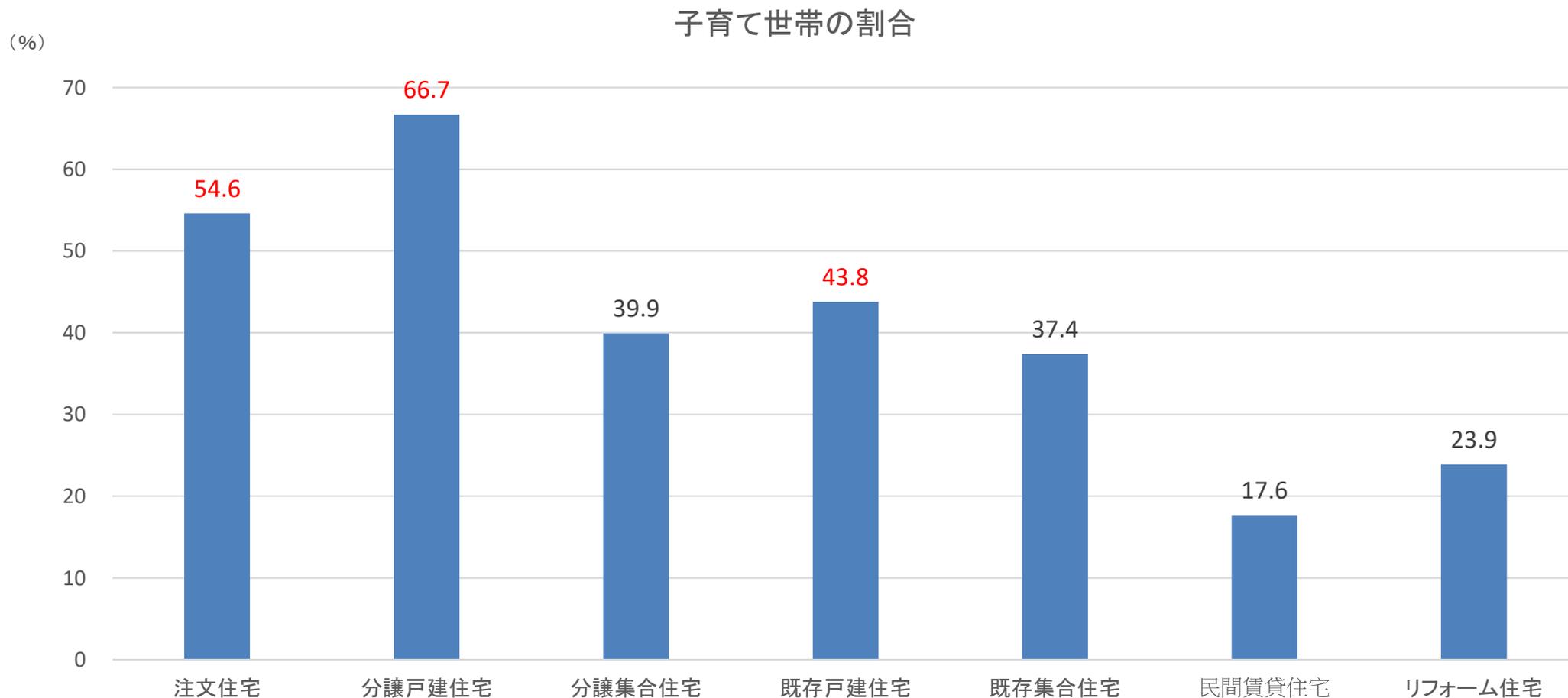
- ① 価格・家賃が予定より高くなった
- ② 住宅の広さ
- ③ 間取り、部屋数
- ④ 住宅のデザイン
- ⑤ 職場からの距離
- ⑥ 交通の利便性
- ⑦ 交通・生活利便性の高い立地



※注文住宅は全国、その他は三大都市圏

【参考3】各住宅取得世帯に占める子育て世帯の割合

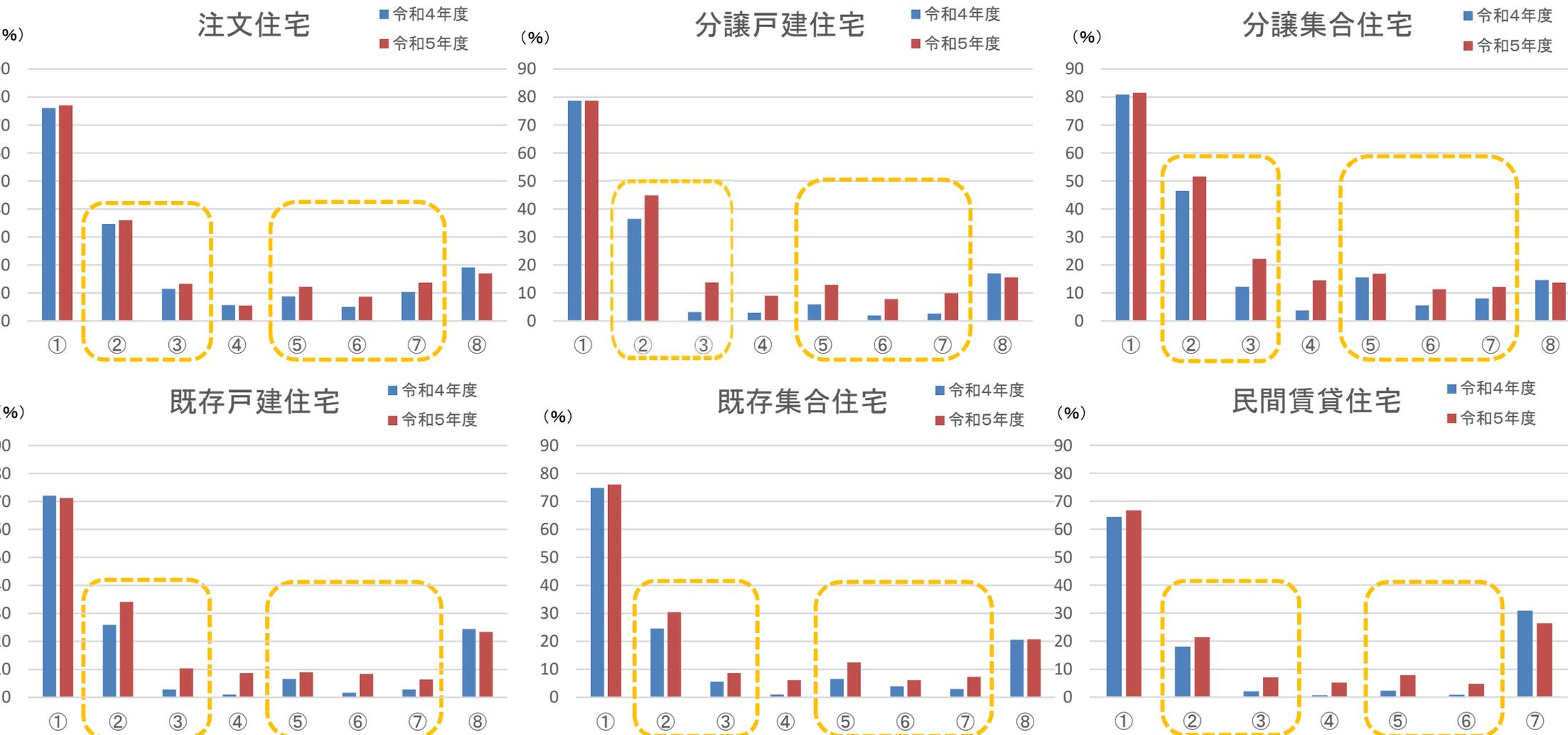
○ 各住宅取得世帯に占める子育て世帯の割合を比較すると、**分譲戸建住宅取得世帯が66.7%で最も多く、次いで注文住宅取得世帯が54.6%、既存戸建住宅取得世帯が43.8%**と続いている。



【参考4】住宅取得等の過程におけるインターネット活用状況

○ いずれの利用関係別においても、「オンラインでの住宅ローン審査」、「オンラインでの重要事項説明」、「電子署名等を活用した電子契約」等と回答した割合が前年度調査から増加。

- ① インターネットを通じた情報収集
- ② インターネットを通じた問い合わせ、説明会・内見等の申込み
- ③ オンライン会議システム（Zoom、Teams、Skype等）を活用した物件説明・商談
- ④ VR（仮想現実）またはAR（拡張現実）ツールを活用した物件内見
- ⑤ オンラインでの住宅ローン審査（※民間賃貸住宅は対象外）
- ⑥ オンラインでの重要事項説明（※民間賃貸住宅は⑤）
- ⑦ 電子署名等を活用した電子契約（※民間賃貸住宅は⑥）
- ⑧ ①～⑦の経験はない（※民間賃貸住宅は⑦、①～⑥の経験はない）



※注文住宅は全国、その他は三大都市圏 【複数回答可能】